

2021年10月1日

## 経済レポート

# 日銀短観(2021年9月調査)結果

調査部 主席研究員 小林 真一郎  
 研究員 丸山 健太

## 大企業の業況判断は改善が続くも、ペースは鈍化

本日発表された日銀短観(2021年9月調査)における大企業の業況判断DI(最近)は、製造業、非製造業とも改善し、コロナ禍の最悪期だった20年6月調査からの回復は続いている。もともと、自動車や対面型サービス業などで、コロナ禍の影響が局所的に表れ、改善ペースは両者とも鈍化した。

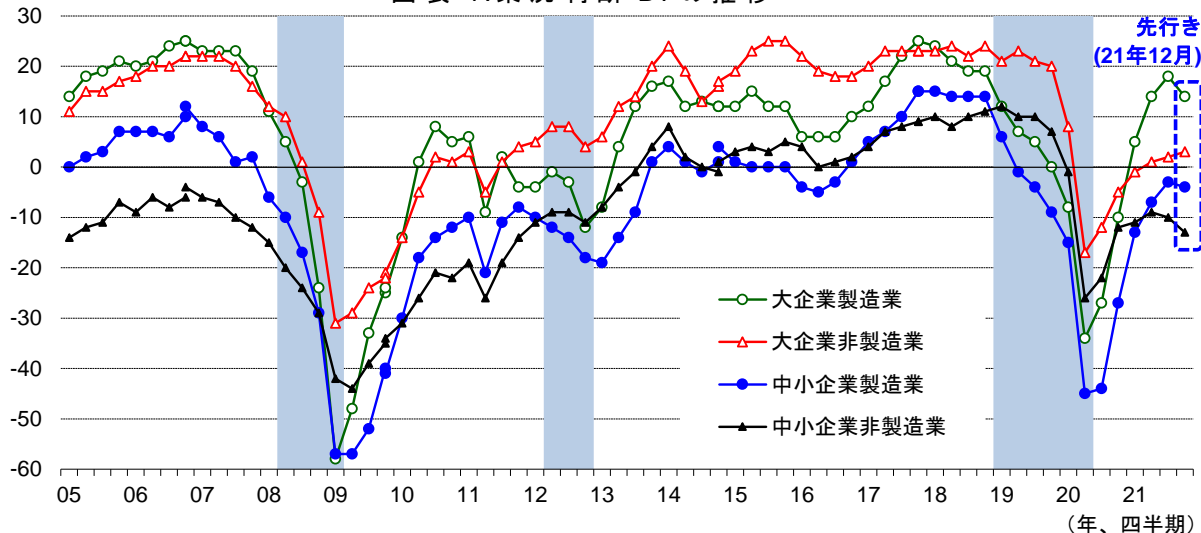
**大企業製造業**は、前回調査(2021年6月調査)から4ポイント改善の18と5四半期連続で改善したが、すでにコロナ前の水準を回復していることも影響し、改善ペースは鈍化した。業種別にみると、回復が遅れていた素材業種での改善が大きかった一方、世界的な半導体不足や感染が急拡大した東南アジアでの工場閉鎖などによる部品不足を背景に、生産縮小を余儀なくされている自動車での悪化が全体を押し下げた。

**大企業非製造業**は、前回調査から1ポイント改善の2と、製造業と同様、5四半期連続で改善したものの、改善は小幅にとどまった。資源価格の上昇がプラス材料となる卸売や、貨物輸送が好調な運輸・郵便での改善が大きかった一方、娯楽業、旅行業を含む対個人サービスや小売などで悪化したほか、すでに大幅な「悪い」超となっている宿泊・飲食サービスで改善がみられないなど、コロナ禍の影響が大きい対面型サービス業の苦境が目立つ結果となった。

先行きは製造業で14と4ポイントの悪化を、非製造業では3と1ポイントの改善を見込んでいる。選択肢別社数構成比をみると、製造業、非製造業いずれも「良い」、「悪い」と判断した企業の割合が低下し、「さほど良くない」の割合が上昇した。今後の感染状況、海外景気の先行き、半導体不足の影響など不透明な要因が多く、先行きに対して慎重な企業が増えているとみられる。

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

図表 1. 業況判断 DI の推移



(注) シャドー部分は景気後退期、直近は当社予測。

(出所) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

 (お問い合わせ) 調査部 E-mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp), 担当: 丸山 03-6733-1630

なお、2021年度の想定為替レートは107.64円/ドルと、前回よりも円安水準で設定されたものの、依然、足元の実勢より円高であり、このまま為替レートが円安傾向で推移すれば、減産を強いられ苦境にあえぐ自動車をはじめ、輸出企業の先行きの業績は上振れる可能性がある。

図表 2.大企業業況判断 DI の内訳

## ◆大企業

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

	大 企 業					
	2021年6月調査		2021年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>製 造 業</b>	<b>14</b>	<b>13</b>	<b>18</b>	<b>+ 4</b>	<b>14</b>	<b>- 4</b>
<b>素材業種</b>	<b>13</b>	<b>9</b>	<b>20</b>	<b>+ 7</b>	<b>11</b>	<b>- 9</b>
織 維	- 16	- 8	- 8	+ 8	- 8	0
紙 パ	4	4	19	+ 15	11	- 8
化 学	23	19	31	+ 8	20	- 11
石 油 ・ 石 炭	12	7	18	+ 6	6	- 12
窯 業 ・ 土 石	5	7	4	- 1	5	+ 1
鉄 鋼	5	5	13	+ 8	7	- 6
非 鉄	33	18	33	0	12	- 21
<b>加工業種</b>	<b>16</b>	<b>14</b>	<b>17</b>	<b>+ 1</b>	<b>14</b>	<b>- 3</b>
食 料 品	8	1	9	+ 1	2	- 7
金 属 製 品	6	- 2	9	+ 3	3	- 6
は ん 用 機 械	34	23	34	0	27	- 7
生 産 用 機 械	26	29	34	+ 8	38	+ 4
業 務 用 機 械	8	5	16	+ 8	8	- 8
電 気 機 械	28	27	30	+ 2	26	- 4
自 動 車	3	12	- 7	- 10	2	+ 9
<b>非 製 造 業</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>+ 1</b>	<b>3</b>	<b>+ 1</b>
建 設	15	7	17	+ 2	13	- 4
不 動 産	13	20	12	- 1	18	+ 6
物 品 賃 貸	20	14	10	- 10	7	- 3
卸 売	7	10	15	+ 8	15	0
小 売	2	- 2	- 4	- 6	0	+ 4
運 輸 ・ 郵 便	- 10	- 4	- 3	+ 7	- 3	0
通 信	31	23	29	- 2	21	- 8
情 報 サ ー ビ ス	26	15	25	- 1	25	0
電 気 ・ ガ ス	- 18	- 24	- 21	- 3	- 24	- 3
対 事 業 所 サ ー ビ ス	26	32	38	+ 12	30	- 8
対 個 人 サ ー ビ ス	- 31	- 8	- 45	- 14	- 18	+ 27
宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス	- 74	- 47	- 74	0	- 59	+ 15
<b>全 産 業</b>	<b>8</b>	<b>8</b>	<b>10</b>	<b>+ 2</b>	<b>9</b>	<b>- 1</b>

## 中小企業の業況判断 DI は製造業で改善も、非製造業では悪化

中小企業の業況判断 DI(最近)は、製造業では前回から 4 ポイント改善の-3、非製造業では 1 ポイント悪化の-10 となった。景気回復の動きが中小企業にも徐々に波及しているものの、コロナ禍の影響が長期化していることもあり、非製造業では 5 四半期ぶりに悪化した。

先行きは、製造業で 1 ポイント悪化の-4、非製造業では 3 ポイント悪化の-13 となった。いずれも先行きは慎重な見方が示された。

図表 3. 中小企業業況判断 DI

◆中小企業

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

	中 小 企 業					
	2021年6月調査		2021年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
製造業	- 7	- 6	- 3	+ 4	- 4	- 1
非製造業	- 9	- 12	- 10	- 1	- 13	- 3
全産業	- 8	- 10	- 8	0	- 10	- 2

## 2021年度の設備投資計画は例年通りの修正パターンを踏襲し、V字回復が期待される

2021年度の大企業の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業で前年比+13.3%、非製造業で同+8.2%と、いずれも大きな修正はなかった。大企業では前回調査の6月までに今年度の計画を固めていることが多いため、9月調査で大きく修正されることは稀である。今年度もこの傾向が踏襲されたが、このことから6月以降の感染の再拡大やそれに伴う企業活動の制限などは、今年度の設備投資計画の修正を迫るほどのインパクトはなかったことがうかがえる。また中小企業でも、例年通り上方修正され、製造業、非製造業いずれも前年比プラスの計画となっている。

21年度の設備投資計画は、20年度の設備投資の実績が前年比で大幅なマイナスとなったことや、ウィズ/アフターコロナの経済活動に適応するための設備投資が急がれること、感染症の影響で20年度に実行できなかった設備投資の持ち越しが相当あると考えられることなどから、コロナ禍からのV字回復が期待される。

今後は、例年通りの修正パターンを踏襲し、大企業では前年比プラス、中小企業では前年比二桁の大幅な増加で着地することが期待されるが、変異株の流行や中国をはじめ海外経済の減速など、下振れリスクには注意が必要である。

図表4.設備投資計画(含む土地投資額)

### ◆大企業

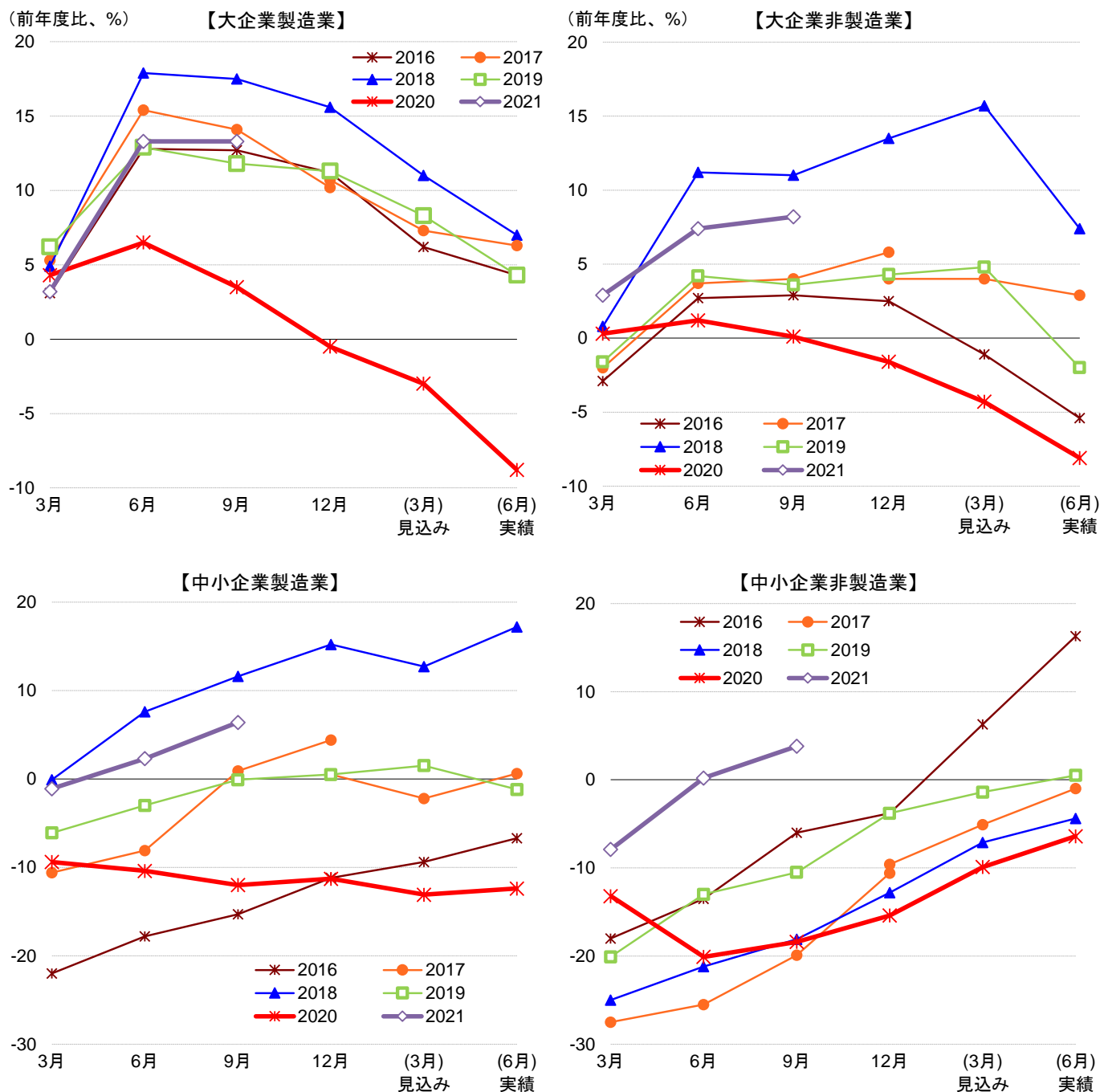
	2020年度 (実績)	2021年度 <6月調査> (計画)	(前年度比・%)	
			<9月調査> (計画)	修正率
製造業	-8.8	13.3	13.3	0.0
非製造業	-8.1	7.4	8.2	0.7
全産業	-8.3	9.6	10.1	0.4

### ◆中小企業

	2020年度 (実績)	2021年度 <6月調査> (計画)	(前年度比・%)	
			<9月調査> (計画)	修正率
製造業	-12.4	2.3	6.4	4.0
非製造業	-6.3	0.2	3.8	3.6
全産業	-8.5	0.9	4.7	3.7

(注) ソフトウェア投資額、研究開発投資額は含まない。  
修正率(%)は前回調査との対比。リース会計対応ベース。

図表5. 設備投資計画の修正の推移



## ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

 (お問い合わせ)調査部 E-mail: [chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp), 担当:丸山 03-6733-1630